

## 2021年度沼津市バレーボール協会 基本方針

当協会（昭和23年）は、発足から72年が経過しました。この間、協会員の皆様のご努力とご協力により確実に一步一步前進しております。しかしながら、健全で民主的な運営を目指す中ではまだまだ多くの課題を抱えているのも現実です。

これからも一つ一つ問題点を解決しながら前に進んでまいりたいと考えています。

しかしながら、昨年度から新型コロナウイルス感染症により弥生杯・沼津選手権大会（高校）・健全育成杯（中学）・沼津選手権（小学）・年度総会が中止や延期となり、今年度に入り家庭婦人全大会・町別バレー・教育長杯等が、中止に追い込まれ、中学校健全育成杯・高校スポーツ祭等感染対策を行い辛うじて実施されました。多難な2021年度迎えています。また、日本協会・静岡県協会も対応に追われています。

**市協会としては、感染対策をし各種別の大会運営をおこなっていきたくと考えています。**

今年度（町別・教育長杯・弥生杯）は、沼津市協会競技規則適用完全実施となります。沼津市バレーボール協会9人制競技規則（沼津市特別ルールガイドライン）基に、公認記録員取得講習会・第2回公認審判取得講習会を実施しました。さらに、競技規則を浸透させていきたくと考えています。

また、各専門部・業務部活動の活性化を目指していきたくと思います。継続事業として、2019年6月より小学生バレーボール教室（チャレンジバレーキッズ）を開催市内小学生4年～6年男女70余名の参加があり、月1回ですが継続してバレーボール人口拡大にも取り組んでいきたくです。また、新規事業として中学生バレーボール教室は、本年度より男女開催を考えています。

次の点について努力していきたくと思います。

**\* 感染防止対策の徹底を、試合開催へ向け尽力する。**

1 健全な財源の確保

- ① いろいろな収入源の確保
- ② 業務部、専門部での予算の見直し

2 普及と強化

- ① バレーボール人口の拡大（小・中学生世代）
- ② 一般・クラブ部への対応
- ③ 中・高生の普及と強化
- ④ 東レアローズ・ブレス浜松のバレーボール教室の開催への努力

3 倫理規定の遵守

- ① 指導における暴力やパワハラの根絶
- ② 指導者が誇りと自覚を持って臨む

4 審判員の確保・育成

- ① 沼津市公認審判員制度の導入
- ② 沼津市公認審判員育成と研修

5 Vリーグ開催に向け役員の育成

- ① 新体育館2023年1月完成時にVリーグ開催を誘致
- ② 協会役員の育成

\* Vリーグへの協力 役員やチケット販売

沼津市バレーボール協会ホームページ

<https://sva-shizuoka-numazu.jp/>